

双葉西小だより

令和4年11月21日 文責 学校長 窪田 正幸



こどもたちの思い 西小のきずな

テーマ「かがやけ西小のきずな～とどけみんなの思い～」のもと、体育館に全校児童が集まって10日（木）に西小まつりが行われました。昨年度同様、児童と教職員のみでの開催となりましたが、どの学年もそれぞれの特徴を出しながら、これまでの学習の成果や培ってきた力・チームワークを存分に表現してくれました。また、自分たちの発表を目の前の仲間に見てもらったり、他学年の発表を見たりと、深まる秋にふさわしい文化的で心に響く時間を過ごすことができました。



1 年生〈くじらぐも〉

国語の教科書に載っている「くじらぐも」を音楽劇で発表しました。堂々とセリフを言ったり、大きな声で歌を歌ったりと、大きくくじらに負けないぐらいの迫力がありました。



2 年生〈ここがすごいぞ！わたしたちの町〉

生活科の「町たんけん」で学んだことを、グループごとに大きな声をそろえて発表していきました。また、ボディパーカッションは、みんなの心が一つになった一体感がありました。



3 年生〈音楽大好き！！〉

初めて手にしたリコーダー演奏では、限られた音でも身の回りにある楽しい音楽を奏でられることを披露してくれました。合唱・合奏も3年生らしい元気さで一杯でした。



4 年生〈ともだちと旅に出よう〉

総合的な学習の時間で福祉について学んだ4年生は、手話で「友達になるために」など3曲を発表しました。また、地域に伝わる踊りは、本当に全国を旅している気持ちになりました。



5 年生〈元気・勇気そして希望〉

Mrs.GREEN APPLE の「青と夏」に合わせた元気一杯のダンスの後、合唱「ケサラ」を披露してくれました。落ち着いた雰囲気の中、素晴らしいハーモニーが体育館に響き渡りました。



6 年生〈笑う門には福来たる〉

Snow Man の「ブラザービート」似合わせたキレッキレの踊りと、国語の教科書に載っている狂言「柿山伏」を演じてくれました。その表現力の高さと一体感はとても見事でした。



保護者の皆様方には、当日の様子を、児童が使用しているタブレットで視聴できるようにさせていただきました。すでにご覧いただいた方もいらっしゃると思います。児童の発達段階に応じた力が確実に身に付けられるよう取り組んできた成果です。それぞれの学年のよさやこどもたちの頑張りを、楽しくご覧いただくとともに、こどもたちへの温かい言葉かけをお願いします。

前期の振り返り 第2回学校運営協議会

11月10日（木）に第2回学校運営協議会を開催いたしました。学校から今年度前期の成果と課題、学校応援団活動実績、主な学校行事の様子、いじめ・不登校の様子、働き方改革等を中心に報告させていただきました。会員の皆様から具体的にいただいたご質問と学校側からの回答、またご意見の一部を紹介します。



①ここまでの学校応援団への参加人数はどのくらいか。

→10月末時点で、のべ360～370人ぐらいで、コロナ前よりも増えている印象がある。

②応援団の活動を、報道等に情報提供したらどうか。地域の活性化のためにも必要であると思う。

→市教委とも相談の上、検討をしていく。

意見

・教育委員会や運営協議会のメンバーのつてなどにより、報道とつなげることもできる。

③児童の健康確認、マスクの着用について学校での対応はどうなっているのか。

→運動会の時は、直前での感染増加と学級閉鎖措置等があったため、入念な健康チェックと入退場及び応援・歌唱場面でのマスク着用を判断した。現在は、外では原則不要、体育館内では、運動強度が強いものについては距離をとったり会話を控えたりすることを指導し、不要としている。教室内に於いては着用を原則としている。

意見

・専門家の意見によるガイドラインに沿うことが望ましい。その上で、児童個々への対応も必要である。

・リスク管理については、この協議会のように、教員と保護者、客観的な立場での第三者で話し合う機会をもつことが大切である。

様々なご意見・ご要望をいただきました。今後の学校運営に生かしていきます。

フードマイレージ さつまいもほり（5年生）

フードマイレージとは、食料の生産地から消費者の食卓に並ぶまでの輸送にかかった「重さ×距離」で表されるものです。

フードマイレージの大きい食料、つまり遠く離れた生産地から届く食料は、輸送や保管等に石油等のたくさんのエネルギーを必要とするため、結果として多くの二酸化炭素や窒素酸化物が排出されることになります。逆に言えば、地元産の食べ物は地球に優しいといえるでしょう。

この活動に取り組んでおられる「エコ環境練楽甲斐」の方々により、毎年5年生が社会科「これからの食料生産」の発展学習として「フードマイレージ学習会」を行っています。今年は10月28日（金）に、北甲斐農場に於いて行われました。食料自給率や地産地消についてのお話を聞くとともに、さつまいも掘りを体験させていただきました。地元でとれた立派なさつまいもの収穫を通し、改めて地元のよさや地産地消の意義などを認識することができました。

この活動は、今年度をもって終了となります。長い間、ご尽力いただきましたことに心より感謝申し上げます。



児童会役員選挙の取り組み始まる

来年度の児童会のリーダーとなる会長・副会長を決める選挙が行われます。17日（木）に、その立候補者受付がありました。5年生から7名、4年生から4名の立候補者が届けられました。これから、12月7日に行われる立会演説会・投開票に向けて、それぞれの思いを伝えていく選挙活動が始まります。

「主権者教育」という言葉を耳にしたことがある方も多いと思います。『主権者としての政治との関わり方を教える教育』とされています。児童会役員選挙を経験することは、この主権者教育の知識定着に、一定の正の影響を及ぼすと言われています。本校に於いても、選挙活動を通して学ばせたいことを教職員で確認し、今後の指導・支援にあたっていきたいと考えています。

